

各基本戦略の行程表

【重点推進期間：令和8年度～10年度】

令和8年3月
農林水産部

戦略と取組	R7	R8	R9	R10	R11以降	KPI						
						項目	現状	R8	R9	R10		
1 強い産地づくり	(1) 結実確保	ミツバチ・輸入花粉の導入支援		ミツバチの継続的な導入		○ミツバチの導入群数	3,050群(R7)	4,500群	4,500群	4,500群		
		マメコバチ減少要因の解明、増殖技術の開発									マメコバチ増殖技術の普及	
	(2) 品種転換	紅秀峰・やまがた紅王 等晩生種及び受粉樹の導入推進			品種転換の推進		○佐藤錦以外の栽培面積割合	32%(R5)	36%	37%	38%	
		気候変動に対応できる新品種の開発					○新品種候補の選抜数	-	2系統	-	2系統	
(3) 気候変動対応	高温対策資材、加温・無加温ハウスの導入支援		高温障害のメカニズム解明、対策技術の開発、(R8～)バイオスティミュラント資材の効果実証			○支援を受けてさくらんぼの高温対策に取り組む樹園地の面積(累計)	382ha(R7)	582ha	691ha	800ha		
(4) やまがた紅王の生産拡大	大玉生産事例収集・マニュアル化・研修会開催、実証ほを活用した技術の横展開⇒大玉生産技術の普及			大玉コンテストの開催		○3L以上割合	43%(R7)	50%	60%	60%		
	大玉コンテストの開催		果実品評会の開催			○4L以上割合	2%(R7)	5%	10%	10%		
2 技術革新	(1) スマート農業機器の開発・普及	開発プロジェクトチームの発足と開発機種仕様検討			製品開発・現地実証		○PJチーム発足 ○製品開発着手 ○テスト販売(1件) ○スマート機械の導入数	-	4チーム 0	累計4 0	累計4 0	累計4 H11:1件 100
		普及性のあるスマート農業機器の実証・研修会の開催、スマート農業機器の導入支援(R8)				スマート農業機器の導入支援						
	(2) -1 加温施設の機能向上	保温性の高い被覆資材		省力機器の導入支援			○被覆資材・省力機器の導入	-	20件	-	-	
	(2) -2 新型雨よけ施設の開発	新型雨よけ施設の改良	新型雨よけ施設の効果と耐久性検証		テスト販売	一般販売	○新型雨よけ施設の価格(既存価格比)	2倍	1.8倍	1.6倍	1.5倍	
	(2) -3 全天候型生産システムの開発	システム開発プロジェクトチーム立ち上げ、試験材料育成等準備			モデル施設の検討		○プロジェクトの推進	-	プロジェクトチーム立ち上げ	生育環境最適化研究着手		
(3) 樹園地の集積・団地化	地域計画のブラッシュアップ・実行					○担い手への農地集積率	71.9%(R6)	80%	85%	90%		
	衛星データを活用した樹園地情報・樹体情報の見える化											
3 担い手の確保	(1) 営農継続支援	雨よけ施設・スピードスプレーヤ等農業機械の導入支援			雨よけ施設更新への支援		○支援によるスピードスプレーヤ・雨よけ施設更新数	SS: 75(R7) 雨よけ: -	75台 100件	- -	- -	
	(2) 樹園地・技術の継承	新規就農者の確保・育成		果樹研修ファームを活用した新規就農者の技術習得		○果樹の新規就農者数(R7からの累計)	80人(R7)	160人	240人	330人		
		樹園地継承データベースによるマッチング促進				○果樹研修ファームの研修生数(累計) ○樹園地継承DBの登録数(累計)	- 22件(R8.2月末)	3人 75件	6人 135件	10人 200件		
(3) 雇用労力の確保	1日農業バイトアプリの利用促進		外国人材のリレー派遣の試行		外国人材のリレー派遣の本格運用	○農業分野の1日バイトアプリによるマッチング成立数	25,351件(R8.2月末)	26,000件	30,000件	34,000件		
	農作業受託業者の活用促進					○農業分野の外国人労働者数	113人(R6)	125人	130人	135人		
4 稼ぐ力	(1) やまがた紅王のブランド確立	「やまがた紅王ブランド化プロジェクト会議」を核としたブランド確立				○東京都中央卸売市場における県産さくらんぼの取扱金額	18億円(R7)	20億円	21億円	22億円		
		首都圏等でのトップセールスの実施										
(2) 販路の拡大	おいしい山形推進機構による販売プロモーションの展開											